令和５年度　努力点研究計画

研究主題　「タブレット端末を活用して　仲間と学ぶ　やごひがの子」

１　研究のねらい

急速に情報化が進展する社会の中で、情報や情報活用手段を主体的に選択し、活用していくために必要な情報活用能力を育成する重要性がますます高まっている。令和２年度より施行された新学習指導要領においても、情報活用能力は教科の枠をこえて確実に育成されるべきとされた。また、名古屋市においては、令和３年度より児童一人一人に一台のタブレット端末が導入され、タブレット端末を活用した学習の充実が求められている。

タブレット端末を活用するメリットとして、２点挙げられる。１点目が、個別最適化に向けた基盤づくりができる点である。個々の習熟状況に応じたドリルや、動画等を活用して視覚的に学習を行うなど、児童一人一人の実態に合わせて学習を進めることができると考える。２点目が、協働的な学びにつなげやすい点である。昨年度まで本校では、名古屋市教育センターによる研究「『協働力』を高める学級集団づくり」を参照し、研究を進めてきた。その土台をもとに、タブレット端末を活用した授業づくりを充実させれば、さらに仲間と関わり合いながら学習を進める姿が見られるようになると考えられる。

以上の点を踏まえ、本校ではタブレット端末を授業に取り入れていくことを中心に、努力点研究を進めていく。本研究を通して、児童や教師がタブレット端末の取り扱いに慣れ、タブレット端末を活用したよりよい授業づくりにつなげていくことができるようにしたい。